

大同生命保険株式会社 松山支社

代表者 / 支社長 前田 知久
業 種 / 生命保険業
所在地 / 愛媛県松山市三番町 4 丁目 12-4
連絡先 / 089-921-7391

SDGs 達成に向けた取組み

中小企業におけるサステナビリティ経営の実践支援



目的・背景

これまで中小企業とともに歩みを進めてきた当社が、自ら社会的な責任を果たしつつ、中小企業とともに社会課題の解決に取り組んでいくことを明確化するため、令和 5 年 3 月に「サステナビリティ推進計画」を策定しました。

本計画のもと、中小企業が抱える幅広い社会的課題の解決を通じて「中小企業で働く方とそのご家族のウェルビーイング」を実現するとともに、中小企業の持続的発展を通じた「サステナブルな社会」の実現に貢献していきます。

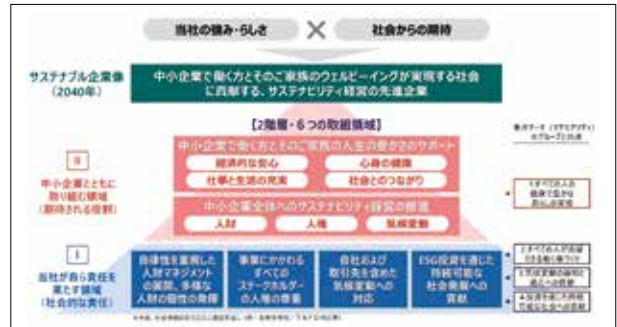
具体的な取組内容

以下の取組みを通じて中小企業におけるサステナビリティ経営を推進し、中小企業が抱える幅広い社会課題の解決を目指しています。

- 中小企業経営者の幅広いリスクに対応するため、死亡保障だけでなく就業不能時の保障も合わせた提案を推進し、事業継続を支援（通年）
- 中小企業によるサステナビリティ経営の実践を後押ししていくため、「サステナビリティ経営実践ガイド」を作成、サステナビリティ経営の基本知識やポイントとあわせて、実践している中小企業の具体的な事例や支援策をわかりやすくまとめ、無料で提供（令和 6 年 2 月）
- 経営者による健康経営宣言の社内共有、企業の「健康診断の受診促進の支援」、経営者・従業員個々の「生活習慣病等の発症リスク分析」、継続的な健康増進の取組みを促す「健康促進ソリューション」「インセンティブ」の提供等、健康経営に必要な PDCA サイクルの実践を一貫してサポートする「KSP (KENCO SUPPORT PROGRAM)」の提供を通じ、中小企業における健康経営の実践を支援（通年）
- また、当社独自の表彰制度「DAIDO KENCO AWARD」を創設し、取組みが顕著な 75 社を表彰（令和 5 年 3 月）、表彰企業の取組内容を当社特設サイトに公表（令和 5 年 6 月）
- SDGs への取組みに関心のある中小企業と、それを実現する技術やサービスを持つ企業とをつなげ、サステナビリティ経営実践の第一歩を後押しする「サステナビリティ経営支援プログラム」を展開（通年）
- 神戸大学経済経営研究所と「中小企業のサステナビリティ経営」をテーマに共同研究を実施し、研究報告書の公表とともにシンポジウムを開催（令和 5 年 3 月）

成果

全国の中小企業経営者を対象に「景況感」や「経営課題」等の「生の声」を集め、レポートにまとめお届けする当社独自の中小企業経営者アンケート「大同生命サーベイ」の令和 5 年 10 月度調査では、サステナビリティ経営の認知度は令和 3 年と比べ + 27pt と着実に上昇するとともに、約 3 割の中小企業がサステナビリティ経営を実践するに至っており、各種取組みを通じ中小企業のサステナビリティ経営の認知・実践に貢献しています。



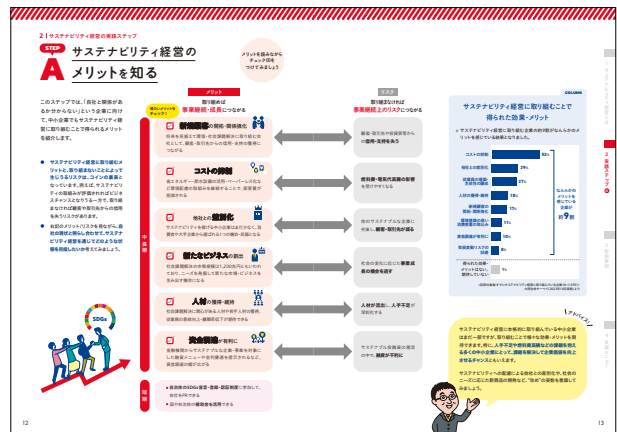
サステナビリティ推進計画の全体像



KSP (KENCO SUPPORT PROGRAM) トップ画面



サステナビリティ経営実践ガイド



担当者の思い

大企業に比べると、中小企業はサステナビリティ経営に関する情報が不足しがちですが、当社が積極的に情報を提供することで徐々に浸透しているように感じています。



〈松山支社 コンダクトマネージャー 谷殿 精一〉